

1. **議題案名**：開発協力大綱の閣議決定を受けて

～新大綱の運用と実施に向けて検討すべきこと～

2. **議題の背景**：

昨年3月から約1ヶ年のプロセスを経て、先月2月10日にODA大綱に代わる新たな「開発協力大綱」が閣議決定された。この間、わたしたちNGOからは、ODA政策協議会も含め、さまざまな機会を通じて、新大綱の内容や策定過程に対する具体的な主張・提案を伝えてきた。結果、完成した新大綱やこの間のプロセスへの意見・評価はNGOとしてさまざまにあるが、一方で、これから新大綱がどのように運用、実施されていくのか、わたしたちは非常に注目している。本議題は、そうしたNGOの関心を受けて提起されるものである。

3. **議題に関わる問題点（議題に上げたい理由）**：

新大綱の閣議決定を受けて、NGOからはいくつかの声明・見解等が公にされた。新大綱へのNGOの評価は、本議題案に添付されたこれらの声明・見解、また、本日口頭で述べられる意見等を十分お聞きいただきたいが、とりわけ「非軍事主義」が今後も名実ともに堅持されるのか、ODA受取国の人々の声や、そこに寄り添うNGOとの協力が真摯に尊重されるのか、そうしたことが深い憂慮として表明されている。

外務省には、ODA受取国の現地の実情に通じたNGOの懸念、指摘を真摯に受け止め、新大綱の運用や実施、そのための体制づくりにぜひ生かしてほしい。わたしたちとしても、そのことを具体的に指摘、提案したいと考え、本議題を提起した。

4. **外務省への事前質問（論点を詰めるために事前に確認しておきたい事実関係など）**：

1) 今回閣議決定された新大綱について、その概要をご報告いただきたい。また、前回ODA政策協議会（昨年12月2日）以降、閣議決定までのプロセスがどのようなものであったか、公聴会・パブリックコメントで出された意見の新大綱への採用の諾否、その理由などについても、前回改定時のマトリックス資料による説明に準じて、ご説明いただきたい。

2) 非軍事・民生分野の外国軍・軍籍者への支援について「実質的意義に着目し、個別具体的に判断する」ためのガイドライン・審査体制はどうお考えか。これまで積み重ねられてきたODA実施プロセス適正化の取り組みはここにも適用されるのか。その仕組みの一つである開発協力適正会議も関与していけるのか。

3) 社会的に周縁・少数・弱い立場に置かれた人々の参画や、「一定の経済発展を遂げた国々への支援」や「官民連携」における適正性の確保について、具体的にどのように取り組まれるおつもりか。新大綱の運用と実施に合わせて、ガイドラインや具体的な取り組みのための体制を整備されるご予定はあるか。

4) 新大綱は旧大綱から政策文書としての性格・位置づけが変わり、目的・原則・重点項目だけでなく、旧ODA中期政策が担った具体的施策の打ち出しまでが含まれている。それだけに、大綱そのものの継続的なモニタリングも必要であると思うが、そのための検討や体制づくりは考えておられるか。

5) 旧ODA中期政策がなくなり、毎年度出される国際協力重点方針の重要性が増しているように思われる。この策定過程はどのような段階・期間を踏んで行われているのか、お教え願いたい。また、その途上でNGOに素案を見せていただくことや、明示的にヒアリングを実施していただくことは可能か。

5. **議題に関わる論点（定期協議会の場で主張したいことや、外務省に確認しておきたいと現段階で考える点）：**

(1) 非軍事・民生分野の外国軍・軍籍者への支援について、ガイドラインをつくっていただきたい。軍・軍籍者・治安機関等の関与は、現地の人々や社会への影響も大きいいため、その草の根の現状を熟知するNGOも加わっての策定を求めたい。

(2) 新大綱の運用と実施において、これまで積み重ねたODA実施プロセスの適正化の取り組み、とりわけ審査体制について、例外なく適用・活用していただきたい。

(3) 新大綱の継続的なモニタリングを進めるべく、そのための検討、研究、試行、体制づくりをはじめていただきたい。それについては、NGOも協力する意思がある。

改めて、NGOは新大綱に対して大きな不安と懸念を持っていることを伝えたい。非軍事・民生分野の外国軍・軍籍者への支援への懸念も、理念・思想的なものだけではなく、現場実感からのものと受け止めてもらいたい。不安定化した地域で、うっかり現地のミリタリーバランスに触れることになれば、官民間わず援助関係者のリスクになるし、何よりも、日本の国際協力が現地の人々と共に長年作り上げてきた信頼、協力、活動、成果を一夜で失うことすらありうるということを、肝に銘じてもらいたい。

その上で、新大綱の運用・実施にあたり、いささかも非軍事主義の名実を失わぬ体制づくりを、また、ODA受取国の最も困難な人々の状況にしっかり寄り添える支援を、我々NGOとも協力して、しっかり作り上げていただきたい。

- 氏名：加藤 良太（かとう・りょうた）
- 役職：提言専門委員
- 所属団体：特定非営利活動法人 関西NGO協議会